

平成 24 年 8 月度県内産業景気動向調査結果

この調査結果は、中小企業庁の指定事業に基づいて設置された山口県内の情報連絡員 60 人に、本会が新たに選んだ 20 人を加えた 80 人の連絡員より業界動向を把握した結果です。

山口県の主要指標 DI 値（平成 24 年 8 月末現在）

※DI 値とは、前年同期に比べ「増加」・「好転」したとする企業割合から「減少」・「悪化」したとする企業割合を差し引いた値です。

業界の景況（〈好転〉－〈悪化〉＝〈DI 値〉）

前年同月比は、好転：2.5% 悪化：48.8% DI 値：▲46.3% ポイント

売上高（〈増加〉－〈減少〉＝〈DI 値〉）

前年同月比は、増加：13.8% 減少：45.0% DI 値：▲31.2% ポイント

収益状況（〈好転〉－〈悪化〉＝〈DI 値〉）

前年同月比は、好転：7.5% 悪化：47.5% DI 値：▲40.0% ポイント

山口県の業種別 DI 値(業界の景況)（平成 24 年 8 月末現在）

 30 以上	 30 未満～ 10 以上	 10 未満～ ▲10 以上	 ▲10 未満～ ▲29 以上	 ▲30 以下
--	--	---	--	---

食料品	織 維 工 業	木材・ 木製品	印 刷	窯業・ 土石製品	一 般 機 器	輸 送 機 器	全 製 造 業
▲33.3	▲50.0	▲66.7	▲100.0	▲83.3	▲40.0	▲50.0	▲54.5
							

卸売業	小売業	商店街	サービ ス 業	建設業	運輸業	全 非 製造業	全 体
▲40.0	▲55.6	▲50.0	▲7.7	▲33.3	▲85.7	▲40.4	▲46.3
							

特記事項（景況の変化とその原因・現状等、企業経営・業界での問題点）

食料品	今年のお盆休暇は、8 / 11 から始まり、昨年よりも長い休暇期間であったので、人の動きが良く、土産菓子は昨年より好調であった。和洋菓子他と手広く営業されているところは、苦戦をしており、組合員の破産のニュースは業界でも驚きを受けた。	パン・菓子製造業
	7 月度は▲ 4. 7 % と大きく前年割れした。8 月度は8 / 22 時点で対前年と同等の売上。お盆期間も13日～16日が平日で、カレンダーの並びが例年より悪かったものの、過去最高実績であった昨年度と同等の実績。9月放送予定の全国番組（30分特集）のロケ2本が完了。気がかりなのは、萩漁港の水揚げが全般にふるわないことで、今後も同じような不漁が続くと商材不足が心配される。	水産食料品製造業 萩市
	先月と変わらず資材関係の価格が上がり困っている。また食品関係原料の供給不安や価格高騰などの問題が大きくなってきている。価格の転嫁が難しく、今後どの様にコストを抑えていくかの課題が大きくなってきているのだが、大変難しい。	水産食料品製造業 下関市
繊維工業	8月も7月と変化はなく、全体的に販売が低調気味で苦戦が続いており、9月以降は様子見の状況。傘下企業の広瀬工業がオーダーメイドの補整下着としてブランドを立ち上げ、8月から楽天市場でネット販売をスタートさせ、新しい客の発掘に取り組んでいる。ネット販売も厳しい中だが、特長を出しての挑戦である。海外も価格競争が激しく、今後は会社を維持するのが難しくなる可能性がある。	下着類製造業
	秋シーズンの生産が減少している。店頭での販売が不振。	外衣・シャツ製造業 山口市
	仕事は入ってきているが、国内生産の生地が減り、生地が間に合わない。100%力を使いきれず、また、なかなか売上に結びつかない。	外衣・シャツ製造業 下関市
木材・木製品	梅雨が上がれば、新設住宅着工戸数が増えるのではと期待したが、期待外れであった。木材価格（スギ中丸太）については、やや持ち直したが、依然として、昨年平均を下回っている。業界の景気は、全体的に若干下降気味であるが、前月と変わりが無い。	製材業・木製品製造業 山口市
	依然として回復する兆しはないが、秋からの需要を期待している。	製材業・木製品製造業 下関市
印刷	材料の価格低下が見られるが、売上げが目標に達しない状況が続いており、経費削減のみでは、利益の確保が出来ないところまで来ている。	印刷 下関市

	8月は、大口物件があったのでなんとかしのげたが、販売価格は下がり、収益状況は良くなかった。	印刷 山口市
窯業・ 土石製品	対前年同月比は、骨材56%、路盤材84%、再生材70%、全体では64%。	砕石製造業
	出荷量は前年同月比93%、前月比92%と減少。岩国地区の出荷量は前年同月比を上回っているものの、他の5地区はいずれも低調。現時点は、セメント・骨材等の資材調達に、特に問題も無く、価格も安定して推移している。	生コンクリート製造業
	組合員間で、売上量の差が生じてきている。	石工品製造業
一般機器	半導体を始めとする景況は、先行きの不透明感が増している。工作機械・自動車関連も同様で、特に4月以降の落ち込みが顕著である。	一般機械器具製造業 柳井市
	売上高・在庫数量の減少は、夏季休暇等による仕事量の減少によるものと考ええる。	一般機械器具製造業 周南市
	依然として業界の景気は、低迷を続けている。シャープの例のように、国内主要メーカーの苦境が、大手自動車メーカーのあるわが防府市の業界にも大いに影響を受けている。	一般機械器具製造業 防府市
	親会社の受注量が減少しており、売上増加は今後も見込めない。	一般機械器具製造業 宇部市
	前月と同じ程度で推移している。	
	一定の顧客からのリピート金型、類似金型は多いが絶対量の確保が厳しい状況。更に、新規顧客の取り込みも大変厳しい状況にある。県内大手企業の閉鎖・売却や、燃料・原料価格も高騰傾向にあり、製造業は今以上に厳しくなると予想される。	特殊産業用機械製造業
輸送機器	当面の作業量の見通しに明るい材料が見当たらず、低調に推移している。見積もりの依頼は、単価の引下げの要求幅が大きく、利益の確保は困難を極め、ギリギリの経営を迫られている。	鉄道車両・同部品 製造業
卸売業	全体的に売上高はやや増加傾向にあるものの、利益面については、まだまだ厳しく、苦しい状況が続いている。各業種の経営状況も回復基調ではなく、先行きは不透明である。	各種商品卸売業 周南市
	各業種とも厳しい状況に加え、少しずつ燃料価格が上昇してきており、景気の悪化が懸念される。	各種商品卸売業 山口市
	各業種とも売上減、利益減の苦しい状況が続いており、一般経費及び固定経費の削減に努めている。	各種商品卸売業 下関市
小売業	購買価格が低下している様子。光地区・下松地区にも安売りスーパーがオープンし、多くの集客をしている。消費税も上がる様なので、今後の景気が心配である。	化粧品小売業

	今年、アニバーサリーイヤー「商店街60周年記念」としての催事も加わり夏祭りをはじめ各種開催の予定で、組合の青年部が徳山商工会議所とともに企画をしている。	各種商品小売業 周南市
	前年8月は悪すぎたが、今年は好天気でもあったので、前年比プラスの結果となった。オリンピックの好成績が買い物気分の高揚につながったのかもかも知れない。	各種商品小売業 山口市
	先月同様、猛暑が続いており、バーゲン実施により一部の衣料品店舗は、前年より売上がアップしている。26日に玩具店、28日に靴の専門店が相次いで閉店しており、他の既存店舗は売上、客数共前年を下回る厳しい状況が続いている。尚、7月よりの新規営業の酒ディスカウント店については、予想していた売上には至っていない状況。ヤマダ電機についてはエアコン、冷蔵庫が良く売れていた模様。	各種商品小売業 長門市
商店街	組合・地権者・フランチャイズ元の三者出資によるフィットネスクラブに、地域コミュニティサロンを併設した施設が、8月17日オープン。隣接の商店街でも飲食店の開業が続いており、物販店に続き、飲食店のオーバーストア状況になって来た。僅かなパイで市場の取り合いをしている。	山口市
	7・8月の土曜夜市や花火大会で商店街も賑やかで、特に飲食店などは、売上アップとなった。	宇部市
	8月20日をもって老舗が自己破産で閉店。アーケードの入り口の店舗だけに非常に商店街が殺風景となった。菓子・パン製造直販店の閉店で、業種不足の商店街にとっても痛手である。今以上に来街者減に繋がりそう。	萩市
サービス業	8月に入り、暑くなったので、客数が伸び、ますますの収益があった。反面、9月からの収益は心配をしている。	美容業
	デフレ対策も進まず、組合員の環境が悪くなるばかり。消費税も段階的にアップの方向なので、社会全体の動きも良くなるようには思えない。	理容業
	政府の発表した「日本再生戦略」のグリーン成長戦略の重点施策に、2020年までの目標としてハイブリッド、電気自動車等の次世代自動車の新車販売に占める割合を最大50%とし、普通充電器200万基、急速充電器5000基を設置する旨が盛り込まれた。今後、電動系エコカーの普及がさらに加速することが予想される。	自動車整備業
	比較的暑いこともあり、当業界は好調に推移している。	
	経営状況が大変に厳しく、どんどん悪化している。	情報サービス業 宇部市
	ユーザの中にも事業を縮小したり廃業するケースもあり、代替需要も厳しい状況である。受注を増やすために何か良い方法は無いかと思案している。	情報サービス業 萩市

	政府の決定は、事業者の首を絞める事ばかりに思う。	屋外広告業
	<p>やや上向きの気配もあるが、相対的には変化なし。7月に続き8月も夏日が続き、持ち直し感も一部にはあったという報告もある。ただし、2極化はますます顕著となり、次の廃業が噂されているという。廃業の理由は需要の落ち込みによる資金繰りの悪化、また、先行きを見込んだ廃業（後継者不足）が多い模様。実際の廃業数は少ないようであるが、落ちるところまで落ちているので、地域差はほとんどなく、何処も同じ状況。新知事には山口県の独自性を期待している。</p> <p>8月後半になりガソリン価格が高騰しているとの報告がある。小麦、大豆価格も値上げがうわさされている。節電は実施しているが、電気料金も値上げとなると、厳しさが増すので、価格の上昇は無いことを願っている。</p>	飲食業
	宿泊客数は前年同月比で93.5%とかなり悪い。1月～4月は良かったが、5月～7月が下り、その原因が良く解らないでいる。	旅館業 萩市
	<p>8月は、夏休みの観光客で例年同様の動きの月となり、概ね、集客状況は良かったという声が多い。販売単価については、前年とほぼ同じく、相変わらず低価格のものが人気であった。日帰りの観光客も、例年同様の動きの月であった。購買意欲があったので、土産物も売れ、観光施設も久々に入りが良かった状況。廃業の話題が多い業界ではあるが、今月は明るい表情を見受けることが多い。</p> <p>昨年は国体があったが、今年はそういったイベントも無いので、9月、10月の景況について、かなり厳しい予測がされている。</p>	旅館業 下関市
建設業	先月と同様に、仕事量はあるが、先々の仕事までは見えない状況である。見積もり物件数は少しずつであるが、増えてきている。	鉄骨工事業
	中電への工事申請7月282件（当支部分233件）、前年同月283件（同247件）。太陽光発電への申請29件、オール電化申請20件（前年は太陽光26件、オール電化22件）。LED街路灯への切替・新設申請は41件（前年は54件）。受注状況はまずまずの様子。	電気工事業
	公共事業は新年度発注が出る時期であるが、依然として低調な状況が続いている。民間の建物解体工事が少しずつ出ており、これら工事が今後の増加につながることを期待したい。	土木工事業 柳井市
	24年8月の受注高は、対前年同月比52%。今年度の累計は、対前年比62%。	土木工事業 萩市

運輸業	<p>8月は毎年の事であるが、収益状況はプラスマイナスゼロとなった。輸出も内需も低調である。鉄鋼素材の輸送量は横ばいだが、飲料用の容器材が増加した。円高・円安の功罪はそれぞれあるが、運輸業界は輸送量の伸びを切望している。油関係は1.8円の値上げ。8月に入ってから油の価格がジリジリ上がってきている。</p>	一般貨物自動車運送業 下松市
	<p>8月はお盆休暇があった事もあるが、昨年度に比べても低調。昨年度は、震災後の取り戻し生産もあり増産の月でもあった。輸出製品の取り扱いを主とする当組合にとっては、世界情勢の変化に大きく左右され、安定した道筋は見出せない。特に、円高に伴う海外への生産拠点の移行は、死活問題となる。</p>	一般貨物自動車運送業 防府市
	<p>売上高は低迷し、一方で軽油がじわりと値上げに動き始めており、運輸業を取り巻く環境は芳しくない。全国的に関東方面からの荷はあるが、逆に地方から上へ向かっての荷が少ない様子で、ここにも景気の上昇はまず中央から起こっている感がある。</p>	一般貨物自動車運送業 宇部市
	<p>8月は、景気の悪さの上に、30℃を越す暑い日が続き、各地で天候の異変が続き、盆休みも長く、大企業を始め、関連企業も仕事が無いようで、不景気の連続である。</p>	一般貨物自動車運送業 下関市
	<p>タクシーチケットの取扱い金額は、前年比▲13.6%（7月1日～8月20日分）となり、6月からの大幅な減少が続いている。7月1日～31日分は▲10.6%の減少、8月1日～20日分は▲19.0%と大幅な減少だが、ますます増大しそうな勢いである。日本たばこ産業防府工場の撤退等もあるが、特定の得意先ではなく全体的に、利用単価が低下しており、加えて利用枚数も大幅に減少している状況。現金利用客の減少はこれほどではないようだが、6月になってから地域の景気状況全体が、大幅に悪化しているのは間違いない。</p> <p>燃料のLPGについては、CP（通告価格）と為替に連動して変動。原油価格の下落とも関連し大幅に低下した。8月のタクシー会社の購入単価は前年比▲13%となり、タクシー会社にとってはたいへんありがたい事だが、価格の引き下げは、景気後退による需要減少の見込みが要因である様子。今年度は、国体による需要増加の見込み等、明るい事案が乏しい状況であり、地域景気的大幅後退が懸念され、加えて、消費税増税による国内景気の後退も大いに危惧される。</p>	一般旅客自動車運送業